

私立大学図書館協会 2005 年度第 5 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2005 年 12 月 9 日（金）14:00～17:00

場 所：関西大学東京センター

出席者：中元 誠（早稲田大学）、植田英範（国士舘大学）、櫻井英賢（駒澤大学）、
西尾雅樹（南山大学）、三谷好隆（龍谷大学）、影山幸子（関西大学）

事務局：赤木一夫（関西大学）、堀口和弘（関西大学）

審議事項：

1 2005 年度第 2 回寄贈資料搬送事業について

委員長から標記の件について、資料に基づき次の説明があった。

配布資料：「2005 年度第 2 回寄贈資料搬送事業申請一覧」

「寄贈資料搬送申請書」

- ①11 月末日に締め切った結果、東海大学、東京基督教大学、立教大学の 3 大学から申請があった。
- ②搬送先は、それぞれ韓国、スリランカ、米国である。
- ③立教大学については、今年度第 1 回に引続きの申請であるが、今回は製本雑誌の寄贈申請である。

審議の結果、委員会としてこの 3 件について了承し、最終見積りが確定次第、会長校に報告することとした。

2 2006 年度海外派遣研修について

委員長から標記の件について、資料に基づき次の説明があった。

配布資料：「2006 年度海外派遣研修の参加募集について(お知らせ)」(案)

「モーテンソン・センターの概要」

「海外派遣研修申請書」

- ①前年度の参加募集に係る資料に基づき、別紙のとおり募集文書等を作成した。
 - ②「モーテンソン・センターの概要」については、最新の情報を確認のうえ修正する。
- 審議の結果、研修目的を「1. 米国における先進的な図書館サービス・運営の実態を学ぶため 2. 図書館職員相互の国際的な人的交流を実現するため」と修正し、面接予定日（3 月 10 日）を入れ、12 月中旬にも会長校から加盟大学図書館宛発送願うこととした。

3 会長校から当委員会への要請事項について

第 1 回委員会において継続検討とした標記の件について、委員長から次の説明があった。

- ①第 1 回委員会で「今後の委員会において検討する」こととしていたが、12/2 に行われた拡大幹事会において、文書での提出を求められた。
 - ②文案を作成するにあたり、各委員の考えを披露いただきたい。
- 意見交換ならびに審議の結果、次のとおりとすることです承した。

・集合研修の目的をより明確にして派遣人数枠を増やす。併せて研修後に協会活動

- への積極的な参加を求めて協会への還元を図る。
- ・委員長が文案を作成し、委員にはメールで確認する。

4 その他

(1) 海外派遣研修・集合研修参加者報告

海外派遣研修参加者 峯 環 氏 (明治学院大学)
海外集合研修参加者 岡田恭子 氏 (駒澤大学)・仲山加奈子 氏 (明治大学)
からそれぞれ報告があった。

報告事項：

1 事務局報告

(1) 2005 年度第 1 回寄贈資料搬送事業の進捗状況について

標記について、事務局から次のとおり報告があった。

- ①茨城キリスト教大学および立教大学については、搬送を完了。明治大学については、寄贈先である南京師範大学の対応が遅く、再度連絡をとっている。

(2) 国際図書館協力基金について

標記について、事務局から 11 月 30 日現在の入金状況について報告があった。なお、協力いただけそうな企業へは再度依頼することとした。

(3) 国際図書館協カシンポジウム会計報告について

標記について、事務局から報告があった。事業経費は 681,898 円となり、事業活動費予算 (650,000 円) を超過した。

以 上